

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

1項 総務管理費

関西本部（電話：06-6341-3955）

9目 県外事務所費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
関西圏販路開拓 推進事業	(21,086) 14,944	(21,446) 15,304	(△360) △360			(6,186) <諸収入> 44	(14,900) 14,900	
トータルコスト	43,182千円(前年度 41,816千円) [正職員：3.5人 非常勤職員：2.0人]							
主な業務内容	鳥取県産品に係る市場調査、商談、情報発信、企画調整など							
工程表の政策目標(指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・食のみやこ鳥取県に関する情報発信・販路開拓 ・産地と消費地を結ぶ「売れる商品づくり」のための情報フィードバック構築(量販店等への定番商品：30品目) 							
※上段（ ）内の数値はふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む額								
1 事業の目的・概要								
県内中小企業等が関西で県産品の販路開拓、販売促進を図るのを支援するための経費及び「食のみやこ鳥取県」PRに係る経費								
2 主な事業内容								
区分	所要額	事業内容						
(拡充) 県内中小事業者等の 販路開拓支援	9,613	○販路開拓マネージャーの活動経費 販路開拓マネージャー(2名)による関西バイヤーと県内企業との販路開拓継続マッチング。量販店、百貨店外食産業等への県産品の販路開拓、情報収集、消費地でのニーズの聞き取り等 (社)鳥取県物産協会の販路開拓マネージャーと連携した販路開拓						
「食のみやこ鳥取県」 の情報発信・販路開 拓	2,250	○在阪フードコーディネーターによる旬の食べ方お知らせ会、注目素材のPR(一般消費者、業界関係者)・新しい料理方法の開発 ○鳥取フェア(外食、量販店)、商談会、食品展示会等での情報発信、販路開拓						
関西における食品流 通情報収集及び県内 への発信	1,752	○関西本部販路開拓情報データベース、メールによる情報発信 ○販売概要(農畜水産物の市場流通統計情報)発行						
民芸店に関する情 報収集、販路開拓	1,060	○伝統工芸店(百貨店)、展示会の情報収集、出展業者の支援、販路開拓						
消費地からの情報 フィードバック	269	○対象者(消費者)を特定して、県産新商品、マイナー特産品等のモニタリング等実施						
3 これまでの取組状況、改善点								
(1)【指標】量販店等への定番商品 30品目 →【現状】29取引56品目(12月末現在) ※食博出展業者の取引増加(うち、食博出展業者12取引22品目) ・緊急雇用基金の活用による(社)鳥取県物産協会配置の販路開拓マネージャーと連携して、一層の販路開拓の推進								
(2) 関西圏での各種イベント開催に合わせて、物産等の販売、PRを行った。								
(3) スイカ、梨等の初売りには知事等のトップセールスも行い、関西の百貨店でPRを行った。								
(4) 特産品を使用した料理講習会は、小学校において食育教育を行う等裾野を広げることができた。認知だけではなく販売に直結した内容等への充実を図る。								